



いよいよ入試です。

明日からの私立推薦入試を皮切りに都内の入試が始まります。日々感染状況が深刻さを増していく中ですが、心身の状態をしっかりと整えて臨んでほしいと思います。こまめな手洗いや外出時のマスクなどやることは今までと変わりません。焦らず、急がず一日をしっかりとやり切りましょう。

最近のようす

入試が目前に迫りスケジュールや書類の管理が必要です。担任とこまめに相談して進めています。



進路学習①

進路カレンダー、経路ナビを作成しました。

進路学習②

都立一般願書を配布して願書の書き方を再確認しました。

二者面談

スケジュールや書類の準備などの確認を担当と行っています。

今後の予定

日付	内容	日付	内容
1/24(月)	朝礼 通常6時間 ①学	1/31(月)	生徒朝礼 通常6時間 都立一般出願始 ①学
1/25(火)	通常6時間 都立一般願書回収	2/1(火)	通常6時間
1/26(水)	通常5時間 職員会議 都立推薦入試 ⑤道	2/2(水)	給食あり4時間 区中研 都立推薦発表 ④道
1/27(木)	通常6時間 地域未来塾 都立推薦入試 ⑥総	2/3(木)	通常6時間 地域未来塾 ⑥総
1/28(金)	通常6時間 都立一般願書返却 ⑥総	2/4(金)	通常6時間 漢字検定 都立一般出願終 ⑥総
1/29(土)	休業日 私立推薦入試	2/5(土)	休業日

❗ **連絡** ・都立一般入試用の願書の提出期日が1/25(火)となっています。期日の提出にご協力ください。
 ・修学旅行の返金の案内を配布しています。案内に沿って手続きをお願いいたします。3月に予定している卒業遠足は2月ごろに振込での集金となります。

進路コーナー 入試直前、最後の確認を。

1月22日(土)の私立推薦入試を皮切りに、いよいよ入試が本番を迎えます。ここでは入試に向けた最後のポイントをまとめてみたいと思います。

1. 受験番号は生徒手帳に控えておこう。

「会場に行ったら、受験票がない！」そんな事ありえないでしょ、と思うかもしれませんが、落としてしまった事例を知っています。忘れ物なら自宅に電話をして届けてもらうもありますが、会場に着いて「さあ」と思って見たらなかったら焦りますよね。この場合、あわてずに会場の係員に説明してください。その時のキーワードが受験番号。身分証明のために生徒手帳を持ち歩くので、そこに控えておけば万が一の時にも一安心です。控えておきましょう。

2. あらかじめ複数の経路を考えておこう。

先日の大雪ではバスが運行中止になるなど、都内の一部では混乱が起きました。天候以外でも人身事故や車両故障などで公共交通機関が止まってしまうことは考えられます。一番便利な経路が使用できなくなった時、とっさに次の経路を思い浮かべるのはなかなか困難です。試験会場に向かう手段を複数考えておくと、いざという時役立ちます。

3. 失敗の大半は、焦りから発生します。

時間がギリギリだったり、必要経費がギリギリだったり、いざ何かあった時にギリギリの行動は焦りを生み、判断ミスの原因となります。あまりに早く会場に行ったり大金を持ったりするのも考えものですが、余裕をもった行動を心がけると不思議と試験にも良い心身の状態で落ち着いて臨めます。財布の中身やICカードの状態、筆箱の中身など、事前に必ず確認しましょう。

4. 慣れない試験場。最優先にすべきことは？

「トイレの場所の確認」だと思います。自分の教室から一番近いトイレを確認しておきましょう。会場によっては自由にトイレに行けないところもあるでしょう。係員の指示や掲示物、配布物をよく確認して、トイレを利用してください。

5. その学校は一足制？二足制？

試験の際に上履きが必要かどうかは学校によって分かります。家にあるものなら前夜のチェックでもよいでしょうが、上履きのように中学校に置いているものだとそうもいきません。持ち物の最終チェックは遅くても前々日にはすましておきましょう。意外と多いのが試験翌日の中学校での上履き忘れ。試験当日は緊張感から疲労がたまるものですが、次の日の準備だけはしっかり行ってください。

6. 中学校の先生はいつも心配をしています。

結果が届いたら翌日で構わないので、必ず担任の先生に伝えましょう。顧問の先生などにも校内で会ったら、進学先のお知らせをしておくことで安心されます。その際に「おかげさまで～」という言葉が出てくると立派な受験生です。陰で応援してくれている家族にも改めて、お礼の言葉が言えるとよいと思います。受験は孤独な闘いと感じがちですが多くの人が絡む団体戦です。決して「一人で」闘っているわけではなく、君たちの合格を心待ちにしている人がたくさんいることを自覚してください。